



田原市制施行10年のあゆみ

平成15年8月20日に旧田原町と旧赤羽根町が合併し「田原市」が誕生。
そして、平成17年10月1日には旧渥美町との合併により渥美半島がひとつになりました。田原市のこれまでの10年を振り返ってみましょう。

平成15年(2003年)

- ★県下32番目の市として「田原市」誕生(8月)※①②
- 第1回田原市民まつりを開催(10月)
- ぐるりんバス赤羽根線の運行を開始(10月)
- 第1回自主防災会斉訓練を実施(11月)
- 赤羽根地区3校区でコミュニティ協議会が設立

平成16年(2004年)

- 防災備蓄倉庫「田原市報民倉」が完成(2月)
- 第1回市民緑花まつりを開催(4月)
- セントファールがオープン(7月)※③
- ぐるりんバス高松線の運行を開始(7月)



平成19年(2007年)

- 国道259号田原バイパス(大久保地区)が開通(3月)※④
- 防災機能を兼ね備えた大手公園が完成(3月)
- 伊良湖岬保育園が完成(4月)
- 市役所南庁舎が完成(6月)
- ぐるりんバス中山線の本格運行を開始(7月)
- 赤羽根中学校校舎完成(11月)
- 吉胡貝塚史跡公園(シエルマよしご)がオープン(11月)

平成20年(2008年)

- 成章高校野球部が36年ぶり2回目の選抜高校野球大会に出場し初勝利・応援団賞最優秀賞受賞(3月)※⑤⑥
- 市民みんなで取り組むまちづくりを目指し、「市民協働まちづくり条例」が施行(4月)
- 野田小学校の新校舎完成(9月)
- 子ども医療費を中学校卒業まで無料化